

<別紙1>当社のみが提案する取締役選任議案（第3号議案）並びに当社および提案株主双方が提案する取締役選任議案（第6号議案）

第3号議案 取締役9名選任の件

現任取締役全員（11名）は、本株主総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、2022年策定の中期経営計画（5か年計画）の早期達成を始めとして、順調に推移する業績を踏まえて、当社のさらなる発展を目指すため、取締役11名の選任をお願いいたしたいと存じます。

当該11名の取締役候補者のうち、2名は、提案株主から提案された取締役候補者と重複していることから、当該2名の取締役選任議案は、会社提案および株主提案である第6号議案として上程することとしております。

以上のことから、本議案においては、会社提案のみの取締役候補者9名に関して、取締役としての選任をお願いしたいと存じます。

本議案の取締役候補者は、次のとおりであります。

氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況	所有する当社の株式の数
1 かわだかずみつ 川田一光 (1951年7月28日生)	1975年4月 (株)富士銀行（現(株)みずほ銀行）入行 1985年10月 当社入社、経理部長 1988年6月 常務取締役管理部門担当 1995年3月 専務取締役果実部門・野菜部門・開発部担当 1998年6月 代表取締役専務 1999年6月 代表取締役社長 2022年6月 代表取締役会長兼社長 2023年6月 代表取締役会長（CEO）（現任）	489,000株

●取締役候補者とした理由

川田一光氏は、株式会社富士銀行（現・株式会社みずほ銀行）で金融業務を経験したのち、1985年に当社へ入社、経理部長、常務取締役、専務取締役を歴任し、1999年から2023年までの25年間にわたり代表取締役社長を務めました。

この間には、業界内関係者の信頼を得て、全国中央市場青果卸売協会、東京中央市場青果卸売会社協会、大田市場協会、それぞれの会長職を務め、東京都卸売市場審議会委員などの任も担ってきました。2023年に当社代表取締役会長となった以降も、引き続きそれらの役職を継続しながら、2024年には全国の卸売会社で組織していた「青果卸売会社8社会」に、新たに2社を加えた「青果卸10社会」を結成、その会長の立場からも、国や都の市場流通の発展に尽くしてきました。

当社のここまでの成長と発展は、このリーダーシップと深い見識により導かれたものであり、引き続き、取締役会を主導して、経営の安定と持続的な成長を支え、他をもって代えがたい実績に裏付けられた発言力や知見により、今後も行政との協議などにおいて、その力を発揮することが期待されます。

以上の理由から、川田一光氏を当社の取締役として選任することは、企業価値のさらなる向上に資するものと判断し、取締役候補者といたしました。

氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況	所有する当社の株式の数
2 かわだこうた 川田光太 (1984年3月25日生)	2006年4月 丸紅(株)入社 2017年4月 当社入社 2017年6月 取締役経営戦略室担当 2018年6月 常務取締役経営戦略室・秘書室・総務部・経 理部・商品センター担当 2021年3月 常務取締役経営戦略室長兼務、秘書室・総務 部・経理部・商品センター担当 2021年6月 専務取締役経営戦略室長兼務、秘書室・総務 部・経理部・情報システム部担当 2023年6月 代表取締役社長 (COO) (現任) (重要な兼職の状況) 2019年6月 (株)大田花き取締役 (現任) 2023年5月 東京青果貿易(株)代表取締役 (現任) 2023年6月 大田市場ロジスティクスセンター(株)代表取締役社長 (現任) 東一神田青果(株)取締役 (現任)	24,000株

●取締役候補者とした理由

川田光太氏は、丸紅株式会社において、主に会計・リスクマネジメント・内部統制の観点から、同社および同社が出資する関係会社の企業価値向上に貢献しました。この間、海外の大型M&Aの推進・実行を担ったほか、在シンガポール関係会社に駐在して管理部門を統括するなど、企業経営の経験を積み上げました。その後、2017年に当社に入社し、丸紅株式会社で培った豊富な知識とスキルを基盤として、経営戦略室担当顧問、取締役、常務取締役などの要職を歴任しました。

2023年に代表取締役社長 (COO) に就任後は、2022年策定の5か年計画を前倒しで達成するなど、当社の経営全般および管理・運營業務に関する知見を有していることが示されています。

また、現在は、東京青果貿易株式会社、大田市場ロジスティクスセンター株式会社、株式会社東京青果研修センターの代表取締役としても重要な役割を担い、経営戦略を推進しています。加えて、上場企業である株式会社大田花きの社外取締役として、経営方針の策定や業務執行の監督を通じて、同社の企業価値向上に貢献しております。

その多岐にわたる経験と確かなリーダーシップは、当社の今後の成長と企業価値の向上に大いに貢献するものと期待されています。

以上の理由から、川田光太氏を当社の取締役として選任することは、企業価値のさらなる向上に資するものと判断し、取締役候補者といたしました。

氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況	所有する当社の株式の数
3 平田 充 ひらた みつる (1957年5月27日生)	1980年4月 全国農業協同組合連合会入会 2003年8月 当社入社 2006年4月 果実第4事業部長 2010年3月 果実第2事業部長 2016年6月 取締役果実第2事業部長 2018年6月 常務取締役果実事業本部長、輸出室担当 専務取締役営業管理部長兼務、果実・野菜部門担当、営業管理部・輸出室・商品センター担当 2023年6月 (現任)	23,750株

●取締役候補者とした理由

平田充氏は、全国農業協同組合連合会での経験を経て、2003年に当社に入社し、前職での経験を当社の事業運営に活かし、当社の成長に深く関与しております。

2018年からは、常務取締役として果実事業本部長および輸出室担当を兼任し、当社のグローバル展開にも大きく貢献しました。さらに、2023年6月には専務取締役として、野菜事業部・果実事業部・輸出室・営業管理部・商品センターを担当し、経営全般にわたる幅広い業務を統括しています。同氏の卓越した現場感覚と実行力は、企業価値を高めるうえで欠かせないものであり、現在も当社の重要な経営課題の解決と戦略推進に貢献しております。

その豊富な経験と高い専門性、そしてリーダーシップは、今後の当社の成長において非常に重要な役割を果たすものと確信しています。

以上の理由から、平田充氏を当社の取締役として選任することは、企業価値のさらなる向上に資するものと判断し、取締役候補者といたしました。

氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況	所有する当社の株式の数
4 むらのしんいちろう 村野伸一郎 (1967年1月1日生)	1991年4月 当社入社 2011年2月 野菜第1事業部長 2013年6月 取締役野菜第1事業部長 2014年2月 取締役野菜第3事業部長 2018年6月 常務取締役営業開発第1部・営業開発第2部担当 2021年3月 常務取締役営業開発第1部長・営業開発第2部長兼務 2023年4月 常務取締役営業開発第1部長・営業開発第2部担当(現任)	11,400株
<p>●取締役候補者とした理由</p> <p>村野伸一郎氏は、当社に入社以来、野菜部門の業務を中心に従事し、着実にキャリアを積み重ねてきました。特に、現場で培った豊富な経験を活かし、現在も事業運営において強いリーダーシップを発揮しています。</p> <p>常務取締役就任後は、営業開発部門を担当しながら、事業の多角的な展開に貢献しました。営業開発第1部・第2部の統括や営業開発部門の戦略立案・実行において重要な役割を担い、当社の業務拡大と営業力強化に大きく寄与しております。</p> <p>同氏の長年にわたる業務経験に基づく深い知見と、現在も発揮されている実践的なマネジメント能力は、当社の今後成長を支える重要な要素となっています。</p> <p>以上の理由から、村野伸一郎氏を当社の取締役として選任することは、企業価値のさらなる向上に資するものと判断し、取締役候補者といたしました。</p>		

氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況	所有する当社の株式の数
5 とつかみきお 戸塚幹夫 (1960年7月5日生)	1983年4月 当社入社 2008年6月 野菜第3事業部長 2014年2月 野菜第1事業部長 2014年6月 取締役野菜第1事業部長 2018年6月 常務取締役野菜事業本部長、輸出室担当 2023年6月 常務取締役野菜事業本部長（現任）	10,450株

●取締役候補者とした理由

戸塚幹夫氏は、1983年に当社に入社以来、一貫して野菜事業に従事し、蔬菜部門や野菜第1・第2・第3事業部などで着実に経験を積み上げてきました。特に、野菜第3事業部長や野菜第1事業部長を歴任し、事業部の運営を統括するなかで、豊富な現場経験と深い業務知識を培いました。

2014年6月に取締役に就任後は、野菜第1事業部を担当し、業務拡大や効率化を実現しました。2018年6月からは常務取締役野菜事業本部長として、当社の野菜事業全体の統括を担当し、当社の競争力強化と市場拡大に貢献しています。

現在も常務取締役野菜事業本部長として、その高いリーダーシップのもと、安定的な事業運営とさらなる成長戦略を推進しており、経営の中核を担う役割を果たしています。

同氏が長年培ってきた現場感覚と広範な業務経験に基づく知見は、当社の取締役会において重要な戦略的判断に大きく寄与しており、今後の企業価値向上に欠かせないものと考えています。

以上の理由から、戸塚幹夫氏を当社の取締役として選任することは、企業価値のさらなる向上に資するものと判断し、取締役候補者といたしました。

氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況	所有する当社の株式の数
6 たかは かおり 高羽 馨 (1962年5月31日生)	1986年4月 当社入社 2016年4月 果実第3事業部長 2020年6月 取締役果実第3事業部長 2022年4月 取締役果実第4事業部長 2023年6月 常務取締役果実事業本部長・輸出室担当 (現任)	11,950株
<p>●取締役候補者とした理由</p> <p>高羽馨氏は、当社において36年以上のキャリアを持ち、果実部門の中心として着実に経験を積み上げてきました。果実第1事業部・第3事業部・第4事業部において実務経験を積み上げ、業務の効率化と拡大に貢献してきました。</p> <p>2016年の果実第3事業部長就任から、当社の果実事業を牽引し、その成果を確かなものになりました。2020年には取締役に就任し、事業運営全般において優れた指導力を発揮しています。さらに、2023年には常務取締役として、果実事業本部長および輸出室担当としての責任を担い、事業の展開を進めています。</p> <p>その豊富な業務経験と部門横断的なマネジメント能力は、当社の成長戦略において不可欠な役割を果たしています。特に果実事業の拡大と品質向上、さらに輸出業務における成果は、今後の当社の発展に大きく寄与するものと考えています。</p> <p>以上の理由から、高羽馨氏を当社の取締役として選任することは、企業価値のさらなる向上に資するものと判断し、取締役候補者といたしました。</p>		

氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況	所有する当社の株式の数
7 いぬかいしげあき 犬飼滋公 (1963年2月20日生)	1985年4月 (株)埼玉銀行(現(株)りそな銀行) 入行 1990年10月 住友ビジネスコンサルティング(株)(現(株)日本総合研究所) 入社 1993年11月 中小企業診断士登録 2000年4月 当社入社 2015年3月 総務部長 2021年6月 取締役総務部長(現任) (重要な兼職の状況) 2015年6月 大田市場ロジスティクスセンター(株)取締役(現任)	13,550株
<p>●取締役候補者とした理由</p> <p>犬飼滋公氏は、株式会社埼玉銀行(現・株式会社りそな銀行)で金融業務を経験後、住友ビジネスコンサルティング株式会社(現・株式会社日本総合研究所)においてコンサルタントとして活躍しました。さらに、1993年には中小企業診断士として登録し、企業経営、財務、組織に関する深い専門知識を有しています。</p> <p>2000年に当社入社後は、総務部門を中心に管理業務を担当し、特に2015年からは総務部長としてガバナンス、リスク管理、人事・労務、法務対応などの中核業務を統括してきました。2021年には取締役に就任し、経営管理部門の責任者の1人として、組織運営の透明性向上や内部統制の強化に貢献しています。</p> <p>これまでの金融業務、コンサルティング、総務分野における豊富な経験と知識は、当社の経営基盤の安定化と持続的な成長を支えるために大いに役立っており、取締役会においても多角的な視点から実務的な助言やリスク対応能力を発揮するものと考えています。</p> <p>以上の理由から、犬飼滋公氏を当社の取締役として選任することは、企業価値のさらなる向上に資するものと判断し、取締役候補者といたしました。</p>		

氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況	所有する当社の株式の数
8 福川祥広 (1968年10月21日生)	1993年4月 当社入社 2011年6月 果実第1事業部長 2018年6月 取締役果実第1事業部長 2023年6月 取締役果実第4事業部長 2024年4月 取締役果実第4事業部長・輸出室長兼務 (現任)	10,800株
<p>●取締役候補者とした理由</p> <p>福川祥広氏は、1993年に当社に入社して以降、果実事業部門中心に経験を積み重ね、実務能力を培ってきました。果実第2事業部での主任や係長、課長補佐などを歴任した後、果実第1事業部ではグループマネージャー、副部長、そして事業部長を務め、事業部の運営と業績向上に寄与してきました。</p> <p>2011年から果実第1事業部長として事業運営を担い、取締役就任後もそのリーダーシップを発揮し、事業の拡大に貢献しました。2023年には果実第4事業部長に就任し、部門の運営と管理を強化しております。また、2024年からは輸出室長を兼務し、当社の国際業務の推進にも注力しています。</p> <p>同氏が長年培った豊富な経験と幅広い専門知識は、今後の当社の成長戦略にとって重要な役割を果たすものと考えています。</p> <p>以上の理由から、福川祥広氏を当社の取締役として選任することは、企業価値のさらなる向上に資するものと判断し、取締役候補者といたしました。</p>		

氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況	所有する当社の株式の数
9 よこおまゐる 横尾護 (1966年5月16日生)	1989年4月 三菱商事(株)入社 2004年1月 エム・シー・トランス・インターナショナル(株)不定期船部長 2005年2月 三菱商事(株)物流事業ユニットチームリーダー 2013年4月 Diamond Bulk Carriers Pte.Ltd.取締役社長 三菱商事(株)不定期船事業部長 2017年4月 インド 三菱商事会社チェンナイ支店長 2018年4月 インド 三菱商事会社ムンバイ支店長 2019年4月 三菱商事(株)食品産業グループ CEO オフィス人事 2022年4月 総務ユニットグループ タレントマネジメント担当 2025年4月 当社入社 当社顧問(現任)	0株

●取締役候補者とした理由

横尾護氏は、三菱商事に1989年に入社し、物流事業(バラ積み船運航等)を中心に、30年以上にわたり多様な領域での実務およびマネジメント経験を積んでこられました。特に、海外現地法人社長(シンガポール)やインド三菱商事会社での複数の支店で支店長として、事業部門・関連会社の統括、人材マネジメント、コンプライアンスの浸透、さらに現地パートナーとの連携による新規事業開発を主導するなど、グローバルかつ全社的な経営視点を培ってきました。この間には、海外上場企業を含めて、国内外企業複数社の取締役も務め、各社の企業価値向上に貢献しました。

また、近年は食品産業グループにおいて、約500名の所属員を対象としたグループタレントマネジメント担当として、個別面談による能力開発の支援、人材の可視化(BIツールの活用)、エンゲージメント向上施策の立案・実行など、人的資本経営の実現に資する取り組みを積極的に推進しています。

財務・会計の分野においても、事業投資・売却・M&Aに関与するほか、ITを活用した管理会計の高度化などを通じて、経営資源の最適活用にも寄与してきました。

これらの豊富かつ多面的な経験を通じて、事業運営と人材開発の両面に精通し、経営全般を見通す視座を備えていることから、当社の持続的成長とコーポレートガバナンスの強化に大きく貢献するものと考えております。

以上の理由から、横尾護氏を当社の取締役として選任することは、企業価値のさらなる向上に資するものと判断し、取締役候補者としたしました。

(注1) 各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。

(注2) 当社は、当社の全ての取締役および監査役が被保険者に含まれる会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約により、被保険者がその職務の執行に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や争訟費用等が補償されますが、贈収賄などの犯罪行為や意図的に違法行為を行なった役員自身の損害等

は補償対象外とすることにより、役員等の職務の執行の適正性が損なわれないように措置を講じております。当該保険契約の保険料は全額当社が負担しており、被保険者は負担しておりません。各候補者が取締役を選任された場合、各氏は当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。なお、当社は、当該保険契約を任期途中で同様の内容で更新することを予定しております。

第6号議案 取締役2名選任の件

第3号議案に記載のとおり、当社が提案する取締役候補者11名のうち、2名は、提案株主から提案された取締役候補者と重複していることから、当該2名の取締役選任議案は、会社提案および株主提案である本議案として上程することとしております。

つきましては、本議案においては、会社提案および株主提案の取締役候補者2名に関して、取締役としての選任をお願いしたいと存じます。

なお、当社の提案の理由につきましては、第3号議案に記載の内容のほか、以下の各取締役候補者の「当社が取締役候補者とした理由」をご参照ください。

また、提案株主の提案の理由につきましては、第7号議案に記載の内容のほか、以下の各取締役候補者の「提案株主が取締役候補とした理由」をご参照ください。

(当社注:なお、本議案の取締役候補者2名(富田氏および庄内氏)は、いずれも提案株主から事前の連絡もなく無断で取締役候補者に指名されており、株主提案の取締役候補者となることについては承知していないものの、会社提案でもある取締役候補者としては就任を承諾することです。)

本議案の取締役候補者は、次のとおりであります。

氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況	所有する当社の株式の数
1 とみたまさゆき 富田雅之 (1970年11月5日生)	1993年4月 当社入社 2015年4月 野菜第6事業部長 2017年4月 野菜第5事業部長 2018年6月 取締役野菜第5事業部長 2021年3月 取締役野菜第1事業部長(現任)	16,000株

●当社が取締役候補者とした理由

富田雅之氏は、1993年に当社に入社後、約30年間にわたり野菜事業の各部門で実務経験とマネジメント力を培ってこられました。特に、2015年の野菜事業部長に就任後、管理職として当社の事業運営の基盤強化に貢献しました。2018年6月には取締役に就任し、以降、当社の野菜事業の中核を担うポジションで活躍しています。

2021年からは取締役として野菜第1事業部長を務め、戦略立案・実行、部門統括において大きな成果を上げています。特に、幅広い産地・品目を取り扱う中で、調整力や現場感覚を生かした判断力が、取引先との信頼関係構築や事業基盤の強化に大きく寄与しています。

以上の理由から、富田雅之氏を当社の取締役として選任することは、企業価値のさらなる向上に資するものと判断し、取締役候補者といたしました。

<提案株主から通知を受けた内容>

(当社注：以下は、形式的な修正を除いて、「誤字・脱字」や「事実誤認」を含め、提案株主から提出を受けた書面の内容を「原文のまま」記載しております。)

富田 雅之 とみた まさゆき

(1970年11月5日生)

【略歴】

1993年 当社入社

2017年 野菜第5事業部長

2018年 取締役野菜第5事業部長

2021年 取締役野菜第1事業部長(現任)

【重要な兼職の状況】

なし

【所有する当社の株式数】

10千株

【提案株主が取締役候補とした理由】

富田氏は、新卒で当社に入社し、野菜事業部で主に、イモ類や玉ねぎなどの「土もの」と呼ばれる品目の集荷・販売で実績をあげ、現在はキャベツやレタスなどの「葉菜類」を担当しています。産地からの信頼が厚いだけでなく、仲卸や部下からも高く評価されており、現在の当社では川田社長を除くと最年少の取締役ですが、我国の青果卸売市業界、ひいては我国の農業界を牽引できる実力を有しているため、当社が取締役として選任することを提案いたします。

氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況	所有する当社の株式の数
2 庄内弘志 (1969年5月1日生)	1992年4月 当社入社 2016年4月 商品センター部長 2023年6月 取締役商品センター部長(現任) (重要な兼職の状況) 2017年6月 大田市場ロジスティクスセンター(株)取締役(現任)	10,400株
<p>●当社が取締役候補者とした理由</p> <p>庄内弘志氏は、1992年に当社に入社後、野菜部門を経て商品センターに異動し、長年にわたり幅広い業務経験を積み重ねてきました。特に商品センターでは、チーフやマネージャーを歴任し、商品の管理体制や業務プロセスの効率化において確かな実績を挙げています。</p> <p>2016年からは商品センター部長として同部門の統括を担当し、物流管理、品質管理、取引先との連携強化などを推進し、業務の質的向上と安定化を実現してきました。また、2017年からは大田市場ロジスティクスセンター株式会社の取締役を兼任し、物流・商品管理における経営的視点とガバナンスの強化にも寄与しています。</p> <p>2023年6月に当社取締役に就任後は、商品センターのDX推進や組織運営の改革を主導しており、当社の競争力強化と業務効率化に貢献しています。</p> <p>同氏が培った豊富な経験とリーダーシップは、今後の当社の持続的成長を支える重要な役割を果たすものと考えています。</p> <p>以上の理由から、庄内弘志氏を当社取締役として選任することは、企業価値のさらなる向上に資するものと判断し、取締役候補者といたしました。</p>		
<p><提案株主から通知を受けた内容></p> <p>(当社注：以下は、形式的な修正を除いて、「誤字・脱字」や「事実誤認」を含め、提案株主から提出を受けた書面の内容を「原文のまま」記載しております。)</p> <p>庄内 弘志 しょうない ひろし (1969年5月1日生)</p> <p>【略歴】 1992年 当社入社 2016年 商品センター部長 2023年 取締役商品センター部長(現任)</p> <p>【重要な兼職の状況】 なし</p> <p>【所有する当社の株式数】 7千株</p> <p>【提案株主が取締役候補とした理由】</p>		

庄内氏は、新卒で当社に入社し、野菜事業部を経験した後、荷受や商品管理を担う商品センターに異動し、産地からのトラックの待ち時間解消のための予約アプリの導入、荷下ろし時間削減のためのパレット化の推進、卸売場の効率利用のための二層化の推進などに取り組み、実績をあげています。政府の会議や業界団体の活動にも積極的に参加し、リーダーシップを発揮しています。当社に課されている機能的で効率的な青果物流通の実現にその力を発揮してもらえると期待できるため、当社の取締役として選任することを提案いたします。

(注1) 各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。

(注2) 当社は、当社の全ての取締役および監査役が被保険者に含まれる会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約により、被保険者がその職務の執行に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や争訟費用等が補償されますが、贈収賄などの犯罪行為や意図的に違法行為を行なった役員自身の損害等は補償対象外とすることにより、役員等の職務の執行の適正性が損なわれないように措置を講じております。当該保険契約の保険料は全額当社が負担しており、被保険者は負担しておりません。各候補者が取締役に選任された場合、各氏は当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。なお、当社は、当該保険契約を任期途中で同様の内容で更新することを予定しております。